



地域医療支援病院

- ・救命救急センター
- ・地域がん診療連携拠点病院
- ・地域周産期母子医療センター

基幹災害拠点病院

長野赤十字病院

ご自由にお持ちください

2019

春

NO

120

広報誌

わかさと



日本赤十字社 長野赤十字病院
Japanese Red Cross Society

長野市若里5丁目22番1号

電話：026-226-4131

FAX：026-228-8439

<http://www.nagano-med.jrc.or.jp>

発行者：広報誌編集部

特集

● 新年度を迎えました
新院長からご挨拶

● 膠原病リウマチ内科について

新院長就任のご挨拶



長野赤十字病院 院長

和田 秀一



本年四月より病院長に就任いたしました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。これからも人道・博愛・奉仕の赤十字精神にのっとり、患者さん中心で質の高い医療を実践するという病院の理念を基に、各医療機関の皆様との連携を深め、地域医療支援病院として更にその機能を充実するよう努めてまいります。

当院は、①地域医療支援病院、②基幹・地域災害拠点病院、③次世代医療人の育成、を主たる使命としています。

地域医療支援病院では救急医療、がん診療、周産期母子医療が三つの柱です。救急医療は「病院の総合力」と「職員の献身的な使命感」を必要とする領域です。当院は北信地域の三次救急を担う救命

救急センターとして「断らない救急」・「救急診療の質の向上」に努めております。

二〇一八年一・二月の救急車・ドクターヘ

リ搬送は計六九二件で、救急車応需率は

99・68%でした。特に、循環器救

急・脳神経救急では医師が24時間

365日院内に常駐している体制をとつ

ております。循環器病センターでは

TAVI（経皮的動脈弁置換術）の

実施に向け整備をしており、本年度中に

開始する予定です。また、当院は地域が

ん診療連携拠点病院に指定されており、

高精度放射線治療センターも開設し、ダ・

ヴィンチ手術装置などの高度な治療環境

の整備に努めています。開設二〇周年を

迎えた骨髓移植センターは全国レベルの

優れた成績です。また、地域周産期母子

医療センターとして、母体搬送・新生児

特定集中治療室との連携により、妊婦と

新生児の二つの大切な命を守っています。

昨年度にLDR（陣痛・分娩・回復室）

の整備と分娩室の改修を行い、より整備

され機能的な環境になっています。

災害医療では、長野県唯一の基幹災害

拠点病院に指定されており、DMAT隊

と救護班の編成を行い、救援物資の備蓄

と配分などの体制を常に備えています。

平成30年度には西日本豪雨の際に救護

班を派遣いたしました。

人材育成はきわめて重要な病院の使命

と考えています。看護専門学校、基幹型

医科・歯科臨床研修病院として、更には

医学生・多職種の学生も多数受け入れて

います。180名を超える初期研修医を

育成してきました。

今年度は2025年着工を目指した

新病院の建設に向け、基本構想

ver.2の策定を行います。長野市よ

り若里多目的広場を建設候補地として

認めていただき、土壌調査も終了いたし

ました。地域住民の皆様、各医療機関の

皆様、医師会、行政などと広く意見の

交換をしながら、基本構想の策定を行う

予定です。どうぞ皆様のご理解とご協力

をお願い申し上げます。

長野赤十字病院はこれからも地域住民

の皆様にご信頼される基幹病院として「診

療の質の向上」と「医療連携」・「療養

環境の改善」に努めてまいりますので、

より一層のご支援をお願いいたします。

二〇一九年 四月

膠原病リウマチ内科について

Q1

膠原病とリウマチが科の名前になっていますが、同じ病気ですか？

A

膠原病は20以上の病気の総称です。その中の一つに関節リウマチがあります。

Q2

膠原病とリウマチのことを、もう少し詳しく教えて下さい。

A

膠原病は1942年にアメリカの病理学者であるポール・クレンペラーによって、膠原線維を含む体の細胞と細胞をつないでいる結合組織に異常を来す病気の総称として提唱されました。医学の発展に伴い膠原病の発症機序が解明され



Q3

どのように治療するのですか？



てきて、膠原病の定義も少しずつ変わってきています。

免疫という言葉は聞いたことがあると思います。免疫は細菌やウイルスなどの外敵から自分の身体を守る働きをしている誰でも持っている機能です。この免疫が何らかの原因で自分の身体を攻撃するようになり発症する病気が自己免疫疾患です。自己免疫疾患のうち関節、皮膚、肺、腎臓、神経など全身の様々な臓器に障害を来す病気のことを膠原病と呼びます。具体的には、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、皮膚筋炎・多発性筋炎、血管炎症候群などが、膠原病に含まれます。膠原病のうち免疫が全身の関節を攻撃して、治療をしないと関節が破壊されて変形する病気のことを関節リウマチと呼びます。

A

膠原病は免疫の異常で起こる病気ですので、免疫を抑える薬を使って治療します。一番代表的な薬はステロイドホルモンの一つであるプレドニゾロンという薬です。プレドニゾロンは副腎というお腹にある臓器で作られているホルモンを人工的に合成して作った薬です。プレドニゾロンには免疫と炎症を抑える作用があります。副腎ではプレドニゾロン換算で1日に5mg程度のステロイドホルモンが作られています。膠原病の治療では1日に60mg使うことがあります。

最近、ステロイドホルモン以外の免疫を抑える薬として、タクロリムス、シクロホスファミド、アザチオプリン、ミコフェノール酸モフェチルなどの免疫抑制薬、免疫に関与する蛋白質（サイトカイン）



膠原病リウマチ内科部長
石井 亘 (いしいわたる)

や細胞（リンパ球）の働きを抑える薬として生物学的製剤、JAK阻害薬が登場し、膠原病、関節リウマチの治療は飛躍的に進歩しています。

膠原病は「難病」「治らない病気」、関節リウマチは「関節が破壊されて変形する病気」というイメージがあるかもしれませんが。最近の治療の飛躍的な進歩に伴い膠原病は病気のコントロールが、関節リウマチは関節破壊を抑えることが可能となり、治療を継続しながら日常生活を普通に送ることが出来るようになりました。

Q4

ステロイドホルモン
は怖い薬と
聞いたことが
ありますが…

A

確かにステロイドホルモンには、風邪を引きやすくなる、骨が弱くなる、胃が荒れる、血糖値が高くなる、夜眠れなくなる、白内障になる、顔が丸くなるなどの副作用があります。今でもステロイドホルモンが膠原病治療の基本となる薬ですが、新しい免疫抑制薬、生物学的製剤の登場により、以前と比べてステロイドホルモンを使う量は減り、副作用の

頻度は減っています。また、副作用を予防、治療する薬も出てきています。膠原病は治療をしないと命に関わることもある病気ですので、専門の医者に診てもらい適切な量のステロイドホルモンを使うことが大切です。

Q5

関節リウマチでは
手術をすることも
あるのですか？

A

以前は、関節リウマチでは関節破壊を抑える薬がなかったため手術がよく行われていました。しかし、1999年にメトトレキサートという免疫抑制薬、2003年に生物学的製剤が関節リウマチの治療に使われるようになり、関節破壊を抑えることが出来るようになってきたため、手術件数は減ってきています。

関節破壊を抑えるためには、関節リウマチを発症したらなるべく早く治療を開始することが大切です。今でも治療開始が遅れると関節が破壊されて変形して手術が必要になることがあります。複数の関節の腫れ、痛みが数週間続く場合は、かかりつけ医に相談して、膠原病リウマチ内科を受診して下さい。

Q6

膠原病やリウマチと
診断されたら、
どのような
生活に気を付けたら
良いのですか？

A

膠原病や関節リウマチの治療に使われるステロイドホルモン、免疫抑制薬、生物学的製剤は、本来であれば細菌やウイルスなどの外敵から自分の身体を守る働きをしている免疫を抑える薬ですので、風邪を引きやすくなるという副作用があります。外出後にはうがい、手洗いをする、風邪を引いている人には近づかない、インフルエンザ、肺炎球菌など不活化ワクチンの予防接種を受けるなど、感染予防に心がけることが大切です。

光線過敏症（日光にあたると皮膚に発疹、水膨れができる）がある方は、紫外線対策をきちんと行う、レイノー症状（冷えると指先が蒼白く紫色になる）がある方は、保温につとめることが大切です。

また、妊娠中も内服可能な薬に整理し、病状が安定していれば、妊娠・出産は可能です。計画妊娠・出産を心がけて下さい。

かかりつけ医のご紹介

皆様の日頃の健康をサポートしています



スポーツが好きで大学生の頃からテニスを楽しんでいます。今も休日はテニスコートでリフレッシュしていらっしゃるそうです。

院長 若松 俊秀 先生

【所属学会】

日本内科学会

日本呼吸器学会

日本睡眠学会

【資格】

日本内科学会認定総合内科専門医

日本呼吸器学会呼吸器専門医

日本睡眠学会認定医

地域医療連携

症状が安定したら
かかりつけ医へ

開業医

専門的な治療が必要
になったら当院へ

当院

地域の医療機関が協力し合う医療体制

訪問

わかまつ
呼吸器内科
クリニックへ



させていただきました!

平成21年5月に長野市高田に開業されました。

●医師を志したきっかけ

幼少期より読書がお好きで、「がん回廊の朝(著:柳田邦男)」に感銘を受け、中学生の頃にはすでに医師を志し、以降は揺らぐことなくこの道に進まれたそうです。

●開業までの経緯と医院の特色

総合病院で充実した日々を送られていましたが、もっといろいろな経験をしてみたいという思いから、開業を考えるようになったそうです。蓄えた知識と経験をもとに新しい挑戦として開業されました。先生は、呼吸器内科、睡眠呼吸障害を専門とされています。クリニックでは、先生の専門を生かした呼吸器疾患中心の診療は勿論のこと、最近話題の睡眠時無呼吸症候群の診断・治療に注力されている点です。この病気は、寝ている間に呼吸が止まってしまう、酸素不足により脳や心臓に大きなダメージを与え、昼間の活動にも影響が生じてしまう怖い疾病です。クリニックでは、簡易的な検査ではなく、一泊入院で多数の項目を検査し睡眠全体を総合的に評価する精密検査(終夜睡眠ポリグラフィー)を行うことができます。なお、精密検査ができる医療機関は、北信地域でも限られています。「ご家族から指摘されるなど、気になっている方はお気軽にご相談ください」とおっしゃっていました。

●地域の方に一言

「完全予約制のため、診療日のご希望に添えない場合がありますし誠に申し訳ありません。そのかわりに予約時間に正確な診療に努めたいと思います。専門領域に重点を置いた診療で地域の皆さんのお力になれるよう頑張ります」



一泊入院で睡眠時ポリグラフィー検査が行えます。

わかまつ呼吸器内科クリニック

所在地: 〒381-0034 長野県長野市大字高田字五分一549-7番地

T E L : 026-266-0227

診療科目: 呼吸器内科、内科、睡眠呼吸障害 ※当院は予約制です。

■診療受付時間 【休診日: 木曜日、日曜日、祝祭日】

診療時間・曜日	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30~12:00	○	○	○	×	○	○	×
午後 15:00~18:00	○	○	○	×	○	×	×



平成30年度に長野赤十字病院に ご寄付頂いた事業者様、団体様



ご寄付いただいた
事業者様、団体様
ありがとう
ございました。

青木鐵工所様 H30.6.7(木)

心電図
検査装置を整備



株式会社 エム・イー様 H30.11.1(木)

移動用X線
撮影装置を整備



長野北ロータリークラブ様 H30.12.13(木)

車椅子用
体重計を整備



株式会社 本久様 H31.3.20(水)

超音波診断装置を整備



平成31年度

再就職・復帰支援研修会プログラム 看護師コース・助産師コースを開催

定員は20名
研修費は
無料です



現在お仕事から離れている看護師・助産師のみなさんが対象です。一緒に研修を受けてみませんか？

参加を希望される方は下記までお問い合わせ下さい。

日程	時間	主な内容	学習課題	場所	講義担当
6月27日 (木)	8:45 ～ 9:00	受付・ オリエンテーション	プログラムの目的を理解する 日程・注意事項等の説明	第2研修ホール (災害センター)	看護副部長 黒岩直美
	9:00 ～ 10:00	最近の医療・看護の動向、 看護倫理、個人情報保護 に関すること	看護職を取り巻く最近の現状に ついて理解する	第2研修ホール	看護部長 ミルズしげ子
	10:10 ～ 12:00	BLS	BLS:Basic Life Support (一次救命処置)を体験する AEDの操作方法を理解する	第2研修ホール	BLSインストラクター
6月28日 (金)	9:00 ～ 10:30	幼児安全法	子どもに起こりやすい事故の予防と 手当について学ぶ 症状の対処方法について理解する	第2研修ホール	看護副部長 中澤みな子
	10:40 ～ 12:00	〈〈助産師コース〉〉 産科の現状と産科領域	産科の現状を知り、助産師外来、 病棟での機器の取り扱いなどを 体験する	産婦人科病棟	助産師 塚田裕子
	12:00	〈〈病院コース〉〉 地域包括システム 退院支援の現状課題	地域包括ケア、地域連携システムと 機能を理解する。退院支援の現状を 理解する	第2研修ホール	地域医療連携室室長 栗田貴子
7月4日 (木)	9:00 ～ 10:20	皮膚のケアについて	皮膚ケアの基本を理解する DESIGN-R褥瘡経過評価について 理解する	第2研修ホール	皮膚排泄ケア認定 看護師 依田梨影
	10:30 ～ 12:00	医療機器の取り扱い	ME機器の基本的取扱いを理解する	第2研修ホール	臨床工学技士 木村良雄
7月5日 (金)	9:00 ～ 11:00	感染管理	標準予防策を理解する 血流感染の対策を理解する	第2研修ホール	感染管理認定看護師 毛内寛子 松坂智栄子
	11:10 ～ 12:00	高齢者の特徴と 認知症について	高齢者の特徴を理解する 認知症についての基本を知り 対応について理解する	第2研修ホール	精神看護専門看護師 柳澤美紀
	12:00 ～ 12:15	修了式 部長挨拶 研修まとめ	修了証書授与 研修のまとめ 質問等	第2研修ホール	看護部長 ミルズしげ子 看護副部長 黒岩直美

再就職希望目的で研修を受講される方対象に、希望される場合は病院見学を実施いたします。

お問い
合わせ

長野赤十字病院 看護部 担当 黒岩直美 TEL:026(226)4131 内線:2421
Mail:wakasa5221@nagano-med.jrc.or.jp



「信州 妊娠と糖尿病セミナー」を開催しました

当院が年間に扱う分娩の約1割は糖代謝異常を合併しています。妊娠前から産後まで、内科、産科、小児科が連携し、一貫した管理を行なっています。妊娠は出産のみならず、様々な病気の一次予防につながるチャンスであり、「地域全体でサポート」を考えるきっかけになればという思いから、初めてのセミナー開催となりました。

会場は満席!!



近隣の
糖尿病クリニック、
産科医院とも
連携しています。



当院の武井真大糖尿病内分泌内科部長と堀澤信産婦人科副部長から、それぞれの視点で「糖尿病と妊娠」についてわかりやすい解説を行いました。当日は北信地域だけでなく遠方からも数多くの聴講希望があり、医師、助産師、保健師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士など多職種が集い、150名を超える大盛況なセミナーとなりました。初めての開催ではありましたが、参加者全員で意義のある時間を共有することができたと思います。今後も当院では糖尿病妊婦と児をサポートするために地域連携に努めて参ります。

2019年ゴールデンウィークの 診療体制について

2019年5月2日(木)の祝日は通常どおり診療を行います。

2019年8月15日(木)はその振替休日として休診日とさせていただきます。

長野赤十字 看護専門学校 **だ** **よ** **り**



春光うらかな季節となりました。

2月に国家試験を受けた110回生39名が3月8日に卒業しました。在校生も凛々しい卒業生の姿を見て気が引き締まった様子でした。今回は11月から3月までの学校の様子をご案内いたします。



実 習



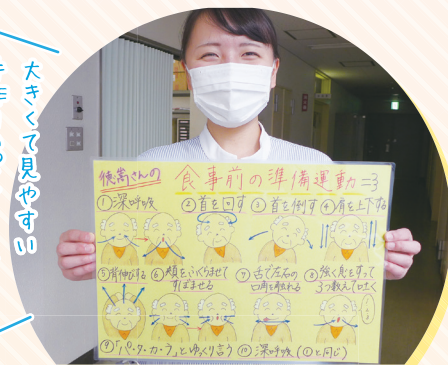
2,3年生:成人、小児、母性、老年、在宅看護学実習

11月、3年生は4月から12日間ずつ行なわれていた看護学実習が終了し、2年生の実習が始まりました。患者さんお一人お一人と向き合い、看護を実践することで、講義や演習では体験できない多くの学びがありました。

3年生:統合実習

12月、学生最後の実習である統合実習がありました。今回は夜勤やリーダーなどの役割実習の他、複数(2人)の患者さんを受け持ち、3年間積み重ねた知識や技術を総動員しながら看護実践しました。複数の患者さんを受け持つことの難しさも感じていましたが、4月からスタッフの一員として働くという自覚が芽生えたようでした。

大きくて見やすい
手作りのパンフレットを
作りました。



1年生:基礎看護学実習

2月、初めて患者さんに対し本格的に観察や看護援助を行いました。実習にあたり1月には3年生が患者役になり、清潔ケアや血圧測定などいくつかの技術を組み合わせた技術チェックを行ない、事前学習や練習を積んで実習に臨みました。実習ではスタッフの指導や患者さんの協力もあり多くの学びを得ていました。今後の成長を見守っていきたいと思います。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



学生会活動



音楽会・クリスマス会

学生会主催で音楽会、クリスマス会を開催し、日頃実習でお世話になっている患者さんに感謝の気持ちを込めて歌や楽器演奏を披露しました。なじみの曲では患者さんと一緒に歌ったり手拍子をするなど和やかなひとときになりました。

夕方からはクリスマスソングを歌いながら病棟でキャンドルサービスを行ない、入院中の患者さんお一人お一人に学生が丹精をこめて作ったクリスマスカードをプレゼントしました。患者さんから感謝の言葉や拍手をいただき、学生にとっても最高のクリスマスになりました。





3年生国家試験受験



2月17日、39名全員元気に看護師国家試験を受験しました。
前々日、担任が願いをこめて書いた藤原道真の絵馬を持って敷地内のお宮に学校長や看護部、教師とともに合格祈願をし、全員合格しました。4月から晴れやかな笑顔で新生活をスタート出来る事を祈っています。



卒業式



3月8日、3年生、110回生39名の卒業式が行われました。当日は伝統の救護服を身にまとい入場。大勢の御来賓や保護者の皆様が見守る中、学校長より卒業証書を受け取りました。



4月からは助産師や保健師を目指して進学する人、長野赤十字病院や県内の赤十字病院で社会人としての第一歩を踏み出す人、それぞれ道は分かれています。目標に向かってこれからも元気に頑張ってくださいと思います。卒業生からは記念品としてドラム式の大型洗濯機と乾燥機を学校に寄贈していただきました。後輩たちの演習で大いに活躍そうです。



地域との交流



キッズサイエンス



11月、国立長野高等専門学校で行なわれたキッズサイエンスに参加しました。当校のブースでは子供たちにも手洗いに興味を持ってもらえるよう手洗い後の洗い残しがどのくらいあるか特殊な光を当てて汚れを確認してもらう体験コーナーを設けました。体験した親子からは「しっかり手洗いしたつもりでもこんなに洗い残しがあるんだ!」と驚く様子も見られました。



ボランティア

日頃お世話になっている病院敷地内の椅子拭きや落ち葉拾いを行いました。気持ちよい環境を整えることも看護にとって大切なことです。これからも学生がお世話になります。宜しくお願いします。



	初	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8	第9	第10	第11	第12	第13	第14	第15	第16	第17	第18	第19	第20	第21	第22	第23	第24	第25	第26	第27	第28	第29	第30	第31	第32	第33	第34	第35	第36	第37	第38	第39	第40	第41	第42	第43	第44	第45	第46	第47	第48	第49	第50	第51	第52	第53	第54	第55	第56	第57	第58	第59	第60	第61	第62	第63	第64	第65	第66	第67	第68	第69	第70	第71	第72	第73	第74	第75	第76	第77	第78	第79	第80	第81	第82	第83	第84	第85	第86	第87	第88	第89	第90	第91	第92	第93	第94	第95	第96	第97	第98	第99	第100	第101	第102	第103	第104	第105	第106	第107	第108	第109	第110	第111	第112	第113	第114	第115	第116	第117	第118	第119	第120	第121	第122	第123	第124	第125	第126	第127	第128	第129	第130	第131	第132	第133	第134	第135	第136	第137	第138	第139	第140	第141	第142	第143	第144	第145	第146	第147	第148	第149	第150	第151	第152	第153	第154	第155	第156	第157	第158	第159	第160	第161	第162	第163	第164	第165	第166	第167	第168	第169	第170	第171	第172	第173	第174	第175	第176	第177	第178	第179	第180	第181	第182	第183	第184	第185	第186	第187	第188	第189	第190	第191	第192	第193	第194	第195	第196	第197	第198	第199	第200	第201	第202	第203	第204	第205	第206	第207	第208	第209	第210	第211	第212	第213	第214	第215	第216	第217	第218	第219	第220	第221	第222	第223	第224	第225	第226	第227	第228	第229	第230	第231	第232	第233	第234	第235	第236	第237	第238	第239	第240	第241	第242	第243	第244	第245	第246	第247	第248	第249	第250	第251	第252	第253	第254	第255	第256	第257	第258	第259	第260	第261	第262	第263	第264	第265	第266	第267	第268	第269	第270	第271	第272	第273	第274	第275	第276	第277	第278	第279	第280	第281	第282	第283	第284	第285	第286	第287	第288	第289	第290	第291	第292	第293	第294	第295	第296	第297	第298	第299	第300	第301	第302	第303	第304	第305	第306	第307	第308	第309	第310	第311	第312	第313	第314	第315	第316	第317	第318	第319	第320	第321	第322	第323	第324	第325	第326	第327	第328	第329	第330	第331	第332	第333	第334	第335	第336	第337	第338	第339	第340	第341	第342	第343	第344	第345	第346	第347	第348	第349	第350	第351	第352	第353	第354	第355	第356	第357	第358	第359	第360	第361	第362	第363	第364	第365	第366	第367	第368	第369	第370	第371	第372	第373	第374	第375	第376	第377	第378	第379	第380	第381	第382	第383	第384	第385	第386	第387	第388	第389	第390	第391	第392	第393	第394	第395	第396	第397	第398	第399	第400	第401	第402	第403	第404	第405	第406	第407	第408	第409	第410	第411	第412	第413	第414	第415	第416	第417	第418	第419	第420	第421	第422	第423	第424	第425	第426	第427	第428	第429	第430	第431	第432	第433	第434	第435	第436	第437	第438	第439	第440	第441	第442	第443	第444	第445	第446	第447	第448	第449	第450	第451	第452	第453	第454	第455	第456	第457	第458	第459	第460	第461	第462	第463	第464	第465	第466	第467	第468	第469	第470	第471	第472	第473	第474	第475	第476	第477	第478	第479	第480	第481	第482	第483	第484	第485	第486	第487	第488	第489	第490	第491	第492	第493	第494	第495	第496	第497	第498	第499	第500	第501	第502	第503	第504	第505	第506	第507	第508	第509	第510	第511	第512	第513	第514	第515	第516	第517	第518	第519	第520	第521	第522	第523	第524	第525	第526	第527	第528	第529	第530	第531	第532	第533	第534	第535	第536	第537	第538	第539	第540	第541	第542	第543	第544	第545	第546	第547	第548	第549	第550	第551	第552	第553	第554	第555	第556	第557	第558	第559	第560	第561	第562	第563	第564	第565	第566	第567	第568	第569	第570	第571	第572	第573	第574	第575	第576	第577	第578	第579	第580	第581	第582	第583	第584	第585	第586	第587	第588	第589	第590	第591	第592	第593	第594	第595	第596	第597	第598	第599	第600	第601	第602	第603	第604	第605	第606	第607	第608	第609	第610	第611	第612	第613	第614	第615	第616	第617	第618	第619	第620	第621	第622	第623	第624	第625	第626	第627	第628	第629	第630	第631	第632	第633	第634	第635	第636	第637	第638	第639	第640	第641	第642	第643	第644	第645	第646	第647	第648	第649	第650	第651	第652	第653	第654	第655	第656	第657	第658	第659	第660	第661	第662	第663	第664	第665	第666	第667	第668	第669	第670	第671	第672	第673	第674	第675	第676	第677	第678	第679	第680	第681	第682	第683	第684	第685	第686	第687	第688	第689	第690	第691	第692	第693	第694	第695	第696	第697	第698	第699	第700	第701	第702	第703	第704	第705	第706	第707	第708	第709	第710	第711	第712	第713	第714	第715	第716	第717	第718	第719	第720	第721	第722	第723	第724	第725	第726	第727	第728	第729	第730	第731	第732	第733	第734	第735	第736	第737	第738	第739	第740	第741	第742	第743	第744	第745	第746	第747	第748	第749	第750	第751	第752	第753	第754	第755	第756	第757	第758	第759	第760	第761	第762	第763	第764	第765	第766	第767	第768	第769	第770	第771	第772	第773	第774	第775	第776	第777	第778	第779	第780	第781	第782	第783	第784	第785	第786	第787	第788	第789	第790	第791	第792	第793	第794	第795	第796	第797	第798	第799	第800	第801	第802	第803	第804	第805	第806	第807	第808	第809	第810	第811	第812	第813	第814	第815	第816	第817	第818	第819	第820	第821	第822	第823	第824	第825	第826	第827	第828	第829	第830	第831	第832	第833	第834	第835	第836	第837	第838	第839	第840	第841	第842	第843	第844	第845	第846	第847	第848	第849	第850	第851	第852	第853	第854	第855	第856	第857	第858	第859	第860	第861	第862	第863	第864	第865	第866	第867	第868	第869	第870	第871	第872	第873	第874	第875	第876	第877	第878	第879	第880	第881	第882	第883	第884	第885	第886	第887	第888	第889	第890	第891	第892	第893	第894	第895	第896	第897	第898	第899	第900	第901	第902	第903	第904	第905	第906	第907	第908	第909	第910	第911	第912	第913	第914	第915	第916	第917	第918	第919	第920	第921	第922	第923	第924	第925	第926	第927	第928	第929	第930	第931	第932	第933	第934	第935	第936	第937	第938	第939	第940	第941	第942	第943	第944	第945	第946	第947	第948	第949	第950	第951	第952	第953	第954	第955	第956	第957	第958	第959	第960	第961	第962	第963	第964	第965	第966	第967	第968	第969	第970	第971	第972	第973	第974	第975	第976	第977	第978	第979	第980	第981	第982	第983	第984	第985	第986	第987	第988	第989	第990	第991	第992	第993	第994	第995	第996	第997	第998	第999	第1000
内科	血液内科	呼吸器内科	消化器内科	泌尿器内科	神経内科	総合内科	循環器内科	皮膚科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

※(非):非常勤医師